

バリアフリー ムーヴメント

Vol.30

“いざ” じゃないとき知る知識！
“いざ” というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

〜今回のテーマ〜
目の不自由な子どもも楽しめる絵本、目の不自由な人にかかわる仕事の本

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使えなかったものを使いやすくするためのモノ等、これらがどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や商品を紹介している「コーナー」。
今回「目の不自由な子どもも楽しめる絵本、目の不自由な人にかかわる仕事の本」についてご紹介する。

(森川美和)

(一)眼科医 視能訓練士など
パート②「研究・デザインにかかわる仕事」(視覚障害に関する研究、色覚研究者など)
パート③「就労にかかわる仕事」(職業訓練担当者、就労支援業務ほか)
パート④「旅行・スポーツにかかわる仕事」(バリアフリー旅行業、障害者スポーツ指導員

盲人のソングライターなど)
本書の編集を担当した大活字の出版製作部部長補佐野田真紀子さんは、目の不自由な人にかかわる様々な職業を知ること、目の不自由な人達の困っていることや必要なことが分かってきます。小さい頃から色々な人がいることを知ってもらえたらいいですね」と話した。

「みんなが一緒に楽しめる絵本」「ユニバーサル絵本」

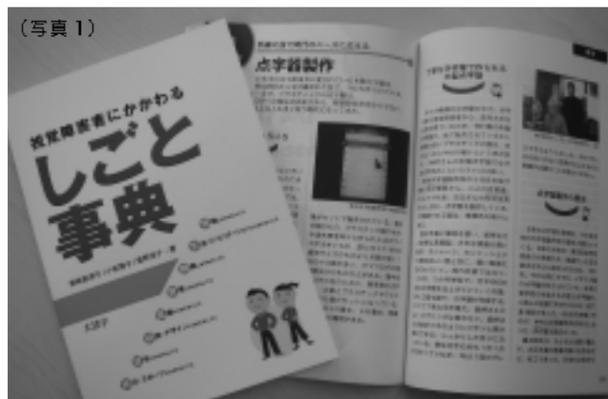
「みんなが楽しめる絵本」でかけるの〜
そんな無邪気な子どもの声に答えるように、目の不自由な女性の指が、絵本の上をすべる。「ここに行きたいんだけど、目が見えなくてもママやパパがここにいてくれるんだ」と、女性と話す。
「ほくも目をつぶってわかってるよ。だって「ボロボロ」してるもん」「得意げな男の子、女性、が満面の笑みを浮かべる。
絵本は、子ども同士または、子どもと大人の心をしくく繋ぐ橋のようかな。

ない人に見える人とをつなぐ貴重な存在だ。
点訳絵本は「これまでにもいくつか出版されているが、需要と供給、作業工程等のバランスから、一般の絵本と比べると価格が高いので、なかなか手に取りにくいのが現状だ。
このような状況を解決すべくいち早く取り組んだのが、各種印刷や紙製加工等を手がける田中産業(株)(埼玉県・さいたま市)だ。
目が見えない子ども達にも目に見える子ども達と同じように絵本を楽しむさせてあげたい、

「知りたかった情報満載!」 「視覚障害者にかかわるしごとと事典」

見えない・見えにくい人、視覚障害者・低視力者・高齢者の生活上のバリアを取り除き、より良い生活を送れるように活動を続けている(株)大活字が、この度「視覚障害者にかかわるしごと事典(写真・イラスト)」を発行した。これまで福祉の仕事として職場や内容を紹介した書籍はあったが、「目の見えない・見えにくい人にかかわる仕事」に特化したものはなかった。
しかも、紹介されている仕事は、実際に働いている人に52名にスポットをあてたもので、その人の仕事に対する思いや考え方がストレートに伝わってくる内容になっている。
さらに資格の取り方や、実際にインターネットで検索した人と「コミュニケーションが取れるように連絡先が書いてあるのも、もっと情報が知りたい人は直接連絡を取ってみよう」といふ、その際は、事前に質問の要点をまとめておき、効率的に必要な情報が得られるように心がけた。「しごと事典」は、以下のように入ったパートに分けて紹介している。

パート①「情報にかかわる仕事」(点字図書館員、点字出版所、点訳者、点訳者ほか)
パート②「生活・リハビリテーション」にかかわる仕事(便利グッズ開発・販売、自覚製作、盲ろう通訳介助者、歩



【写真1】
■「視覚障害者にかかわるしごとと事典」
墨字版(活字版): 3,360円(税込み)
CD-ROM版(テキストデータ): 1,050円(税込み)
[商品のお問い合わせ]
株式会社大活字
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビル6F
電話: 03-5282-4362 / ファックス: 03-3259-2200
メール: cafe@daikatsuji.co.jp http://www.daikatsuji.co.jp/



自社の技術をなんとか活かせるか。その考え、同社は、社内内に社会貢献の一環として、外部の思いを同じくする人達と共に「ユニバーサルデザイン絵本センター」を発足させた。
自社のシルクスクリーン印刷の技術を活かし、目が見えない子どもも、見える子どもも共に楽しめるように、「ユニバーサルデザイン絵本」(以下UD絵本)の作成に取り組み、現在UD絵本を6冊発行している。
第1作目は「てんてん」。センターのイメージキャラクターである「てんてん」の好きなものが、触っても楽しめるように工夫されている。
第2作目は「でこぼこえかきうた」。よく見たり触ったりするだけで、かにさんやぶたさんが描ける。
第3作目は「ゾウさんのハナのおはなし」。第4作目は「チョウチョウのおやこ」。
最新作の第5作目、第6作目は、キレイな色の体にあごがれるクラクラの話、なないろのクラクラと、前述で紹介した「おでかけまるちゃん」である。
子ども達の手に取りやすい大きさで、持ち運びにも便利なサイズだ。
文章には点字も付いているので、遊びながら点字が学べるか

もしれない。
同社代表でUD絵本センターの副代表理事を務める田中裕さんによると、目が見えない子ども達にも楽しめる絵本を「と始まった活動も4年目を迎えました。11月には新刊2作目ができ、8作目が描けます。また3、4作の英語版もできます。今後は、選べる楽しみも、を目標して多くの作品を作りたいと考えています。そのために、点字絵本創りたい人、「一緒に活動したい人」、会員になって応援をしてくれる人を募集しています」と話した。

■「ユニバーサルデザイン絵本」
「てんてん」、「でこぼこえかきうた」、「ゾウさんのハナのおはなし」、「チョウチョウのおやこ」、「なないろのクラクラ」、「おでかけまるちゃん」各600円(税込み)
(約19cm×17cm×0.9cm)
[商品のお問い合わせ]
「ユニバーサルデザイン絵本」
〒338-0004 埼玉県さいたま市本町西4-16-15
田中産業(株)内
NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター 事務局
メール: info@ud-ehon.net http://www.ud-ehon.net/
電話: 070-5212-6772 / FAX: 048-840-1898

(PR) 財団法人共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX03-5280-2373
URL: http://kyoyohin.org/ E-mail: jimukyoku@kyoyohin.org